

2024/1/23 (火)

朝の礼拝

聖書 コヘレトの書 5章 7-8節 (旧約聖書1039頁)

貧しい人が虐げられていることや、不正な裁き、正義の欠如などがこの国にあるのを見ても、驚くな。

なぜなら

身分の高い者が、身分の高い者をかばい  
更に身分の高い者が両者をかばうのだから。  
何にもまして国にとって益となるのは  
王が耕地を大切にすること。

ひざまずく

聖書の世界でも、権力を持つ王様や政（まつりごと）を司る者が不正な裁きや正義感なく貧しい人たちを虐げていました。一方、民衆は律法を守り義しく生きている人でも戦争に巻き込まれ、干ばつや病気で家族を亡くし、財産を失うこともありました。現実の生活に望みをつなぐことはとても困難でした。

私たちが不正を行った為政者たちが今も互いに口裏を合わせ逃げているようで、全く変わらないのには驚かされます。一方で被災地のご高齢の方が雪の降りしきる中、崩れたわが家を呆然と見つめている姿が映像で流されると、この寒空に取り残された人たちが虐げられていると感じるのは私だけでしょうか。

コヘレトは「何にもまして国にとって益となるのは 王が耕地を大切にすること」と言っています。他の訳では「王自らが農地で働くことである」（聖書協会訳）とあります。身分の高い者が自ら大地を「耕す」ことが最も民衆のためだというのは、耕すには「仕える」という意味もあります。英語でServe です。

そしてServe の名詞 Service には「ひざまづく」という意味があります。つまり大地を耕すとは神様の前にひざまづく、懺悔をするという意味です。たとえ王様でも欠けたところがあり、過ちも犯すと自覚することです。そして今を生きるのに精一杯な人を思いやり仕える姿こそが民衆の喜びだと伝えていきます。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちはあなたの前では、誰もが足りないところがあり、過ちを犯す不完全な者です。どうか互いに補い、励まし合う喜びに与らせてください。どうか戦禍にあって、また地震や津波によって被災され避難している方々、特にご高齢の方々、子どもたちを覚え、ひと時でも早く共に感謝を献げる日が来ますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン